

第6回 糸魚川市駅北復興まちづくり市民会議 次第

平成31年1月25日(金) 13:30～
糸魚川商工会議所 2階 会議室

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

(1) 市民会議における検討状況及び今後のまとめ方について 資料No. 1

(2) にぎわいづくりに向けた施設等の機能整理について 資料No. 2

①グループ意見交換

②各グループ意見発表

(3) にぎわいづくりの提案について

①本日のワークについて説明

②提案の検討、まとめ、プレゼン資料作成 資料No. 3、4

③アドバイザーからのコメント

4. その他

(1) 次回の会議について

・第7回2月18日(月)14:00からを予定 ※委員は13時に集合
糸魚川商工会議所2階会議室

5. 閉会

【市民会議での検討(第5回までまとめ)について】

市民会議の所掌事項

- ①にぎわいのあるまちのイメージ
- ②にぎわいづくりに向けた施設等の機能整理、活動内容
- ③市民、事業者、団体、行政等の役割、連携、協働の取組

第1回 にぎわいのあるまちのイメージを考えるため

第2回 にぎわいの定義を共有化

にぎわいの定義に基づき、駅北地域全体のにぎわいづくりを検討

第3～5回

にぎわいをつくるための手段、手法として、3つのテーマに集約

- ①暮らしのシェア
- ②お金の稼げる駅北
- ③子ども連れでも楽しめる

にぎわいの定義

- ・市内から市外から、目的を持って街に人が集う
- ・糸魚川に魅力を感じた人たちが、たくさん訪れている
- ・駅に降り立った人たちが、街中を回遊している
- ・住民同士の結びつきが強く、たとえ一人でいても寂しくない
- ・街の環境整備が行われ、利用されている

○市民会議での検討と市、商工会議所での検討状況

【市民会議】

- ①暮らしのシェア
- ②お金の稼げる駅北
- ③子ども連れでも楽しめる

にぎわいのある
まちづくり

【市、商工会議所】

- ①「プレーヤーが集まり、生まれる」(リノベーションまちづくり)
- ②「まちと関わるきっかけの場」(にぎわい広場)
- ③「まちを訪れるきっかけの場」(にぎわい拠点)
- ④「まちでビジネスが広がる」(産業プラットフォーム)

【市民会議での検討(第6回からプレゼン)について】

市民会議の所掌事項

- ①にぎわいのあるまちのイメージ
- ②にぎわいづくりに向けた施設等の機能整理、活動内容
- ③市民、事業者、団体、行政等の役割、連携、協働の取組

第6回(1月25日)

- 1 前回の市、会議所の提案に関するグループでの意見交換 ⇒ 発表
- 2 にぎわいをつくるための手段、手法として、3つのテーマについて整理
テーマごとの提案整理、作成、マップ(提案を展開する場所のイメージ)への落とし込み

第7回(2月18日)

市長、会頭へプレゼン (案)

1 プレゼンの方法

市民会議の所掌事項に沿ってプレゼンを行う。

- ①にぎわいのあるイメージ → にぎわいの定義の検討について報告(委員長) (5分)
- ②にぎわいづくりに向けた施設等の機能整理、活動内容 → グループごとに発表 (1グループ発表10分、市長、会頭と意見懇談 懇談10分)
- ③市民、事業者、団体、行政等の役割、連携、協働の取組 →

2 わたしの宣言 → 今後まちとどう関わっていくか発表(各委員)

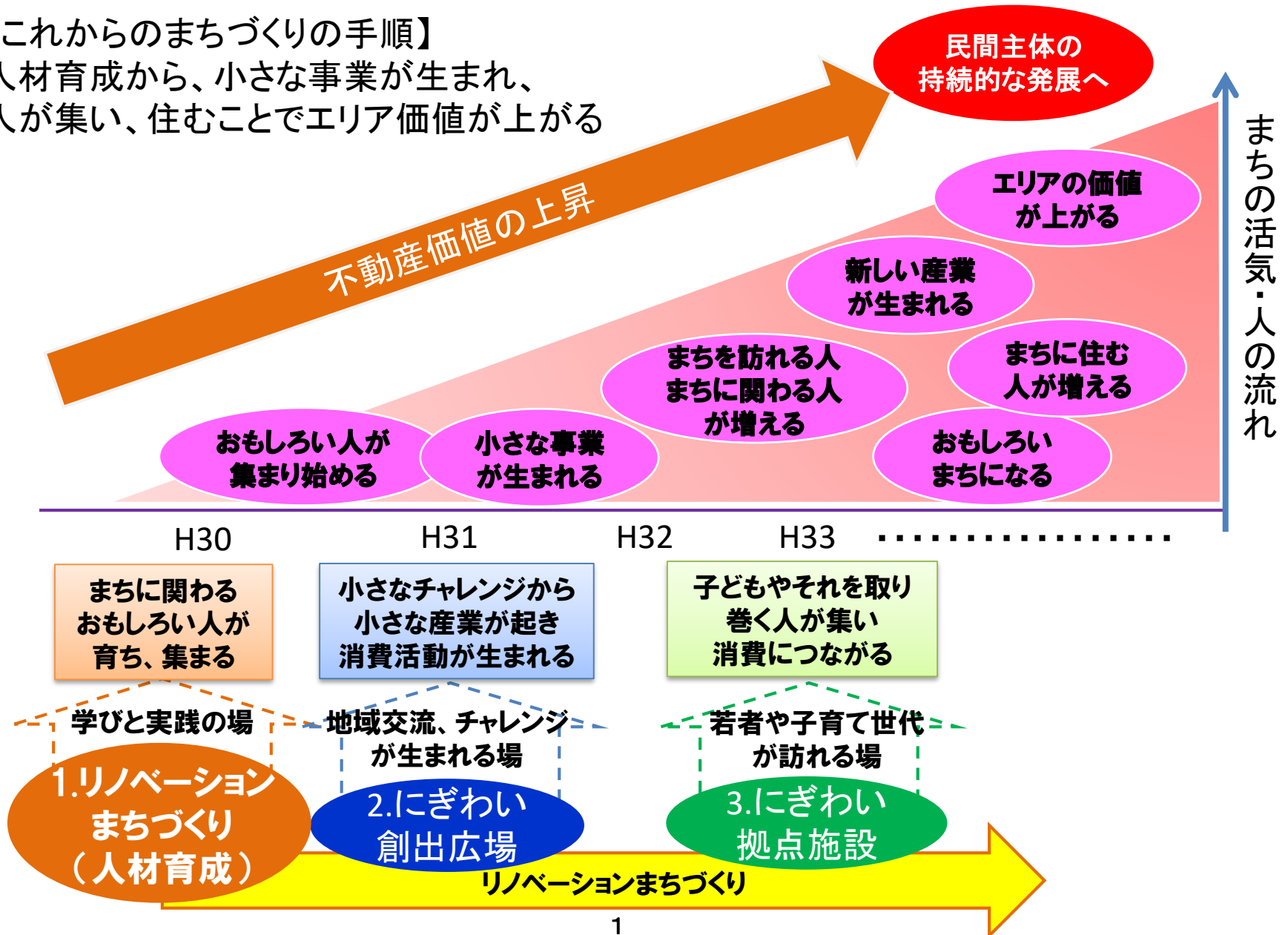
(1人2分)

プレゼン資料

- ・にぎわいづくりの提案、マップ
- ・グループでの意見について

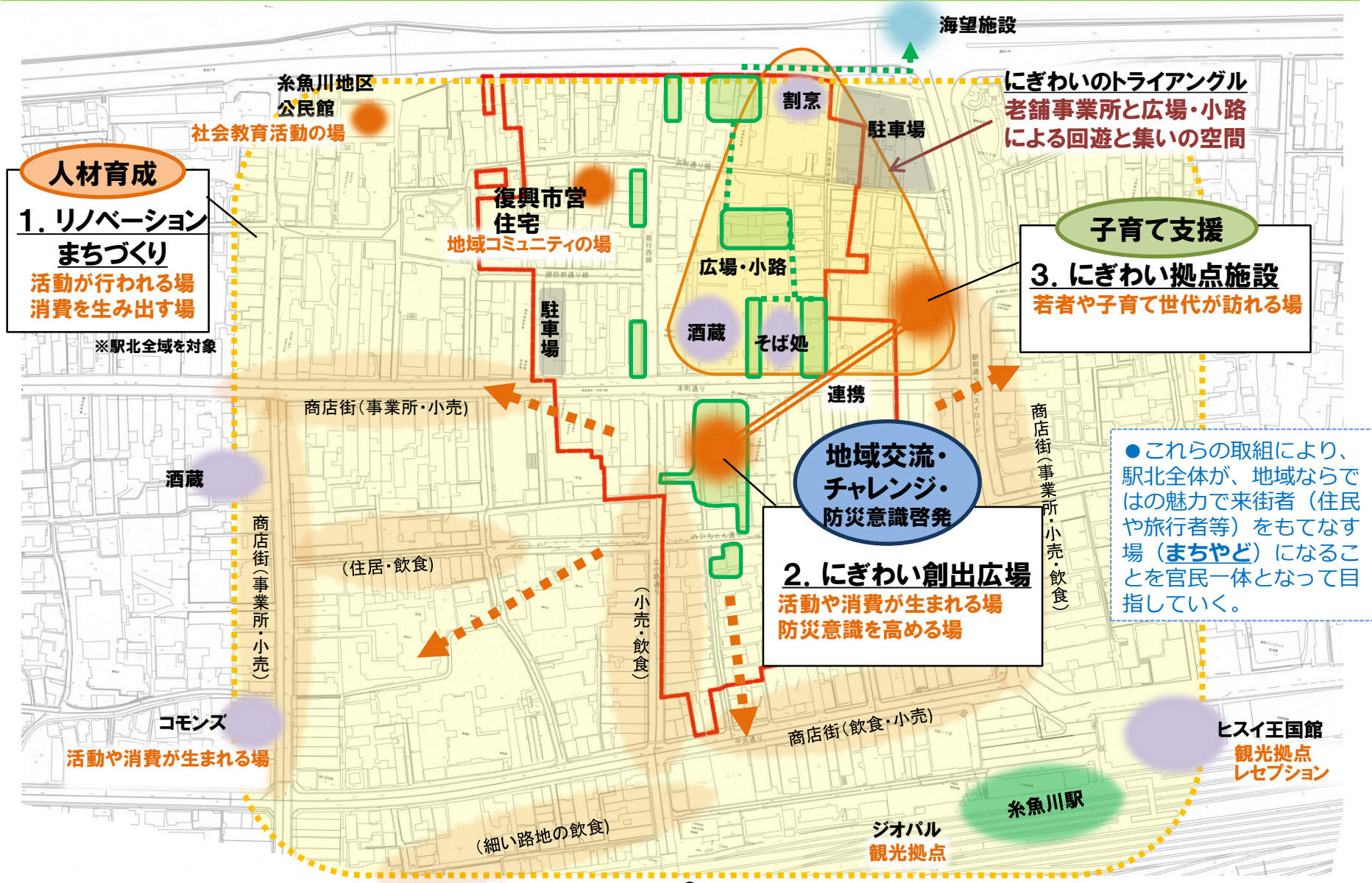
にぎわいづくりの展開について（案）

【これからのまちづくりの手順】
人材育成から、小さな事業が生まれ、
人が集い、住むことでエリア価値が上がる



にぎわい創出のための相関図（案）

（公共的機能による集客を周辺での活動や消費に波及）



1. リノベーションまちづくりによるエリア再生について (案)

(持続可能なまちづくりを担う人材の育成に向けて)

- 課題
- ・中心市街地における空き家、空き店舗の増加(駅北大火以前の課題が浮き彫り)
 - ・駅北地区におけるにぎわい活動の低迷(活動を担う人材の不足)
 - ・復興する被災地(新しい)と周辺地域(既存)の調和と連携

- 方針
- ・既存物件や大火復興で生まれた公共空間等、地域ならではの資源を利用した活動を創出
 - ・活動の連鎖的つながりによる面的な地域価値の向上

学び

- ・リノベーションまちづくりシンポジウムによる機運の醸成
- ・リノベーションスクールによる事業化に向けた知識の習得



実践

- ・空き家空き店舗を活用した新規事業者の増加
- ・まちづくりの担い手と訪問者の増加
- ・まちに活気が生まれ、エリア全体の価値が向上



20年近く空いていた物件をリノベーションした共場 commons【白馬通り】



空き店舗(旧パチンコ店)をカフェに改修【静岡県熱海市内】

プレイヤーが集まり、生まれる

2. にぎわい創出広場の整備について（案）

（多様な活動を通じて市民が憩い集まる場の創出に向けて）

課題

- ・大火前からの中心市街地における消費活動の低下（人口減少、郊外化、インターネットの普及）
- ・中心市街地における滞在者の減少（駅北大火により居住者、事業者の一部が郊外へ転出）

方針

- ・滞在者をまちに呼び込み、周囲の消費活動に展開
- ・「地域交流」「チャレンジ」「防災意識啓発」を柱とした集いの場を創出

地域交流

- ・市民や地区の活動を支援する相談機能
- ・まちづくりを担う人と人、団体をつなぐ地域のハブ機能



チャレンジ

- ・若者や女性の「やりたいこと」の実現の場
- ・商店街での起業、創業につなげるチャレンジの場



防災意識啓発

- ・大火の記録と伝承
- ・防災教育プログラムの展開
- ・大火を切り口とした市の情報発信



まちと“関わる”キッカケの場

3. にぎわい拠点施設【子育て支援分野】の整備について（案）

（30年先の糸魚川市を担う子どもたちの健やかな育成に向けて）

- 課題**
- ・若者や子育て世代の来街機会の減少（市街地の活力低下の一因）
 - ・子ども一貫教育方針による切れ目のない子育て支援環境のさらなる充実

- 方針**
- ・若者や子育て世代が目的をもって街に訪れる機会を創出
 - ・妊娠・出産から子育て時期をトータルサポートする子育てワンストップ窓口を整備

安心

- 育児の相談
- 子育てのサポート
- 子どもの居場所



子育ての支援センター
一時預かり（保育室）
育児援助（ファミリーサポート）
手続きのワンストップ窓口

学習

- 学習環境の提供
- 中高生の居場所



学習室
図書スペース

遊びの場

- 悪天、冬期における外出機会の創出
- 親子ふれあいの場



屋内遊戯施設
絵本スペース
児童館スペース

交流

- 子ども同士、保護者同士の交流促進
- 講座、イベント開催による多世代交流



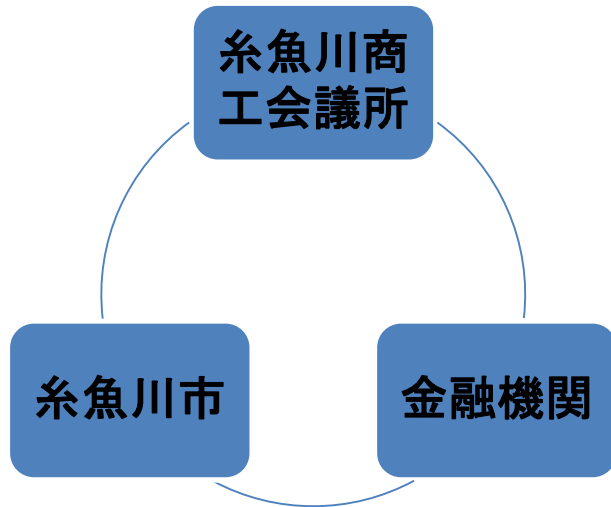
グループ活動室
フリースペース

まちを“訪れる”キッカケの場

(案)

会議所会館の機能・目的～街なかを産業振興の中心地に～糸魚川商工会議所

【糸魚川産業活性化センター】



各セクションが強みを持ち寄り
総合的に糸魚川経済の活性化に取り組む

目的

街なかへの集客効果－ハブ機能で様々な人が来街

知見・経験・事業の集約・つなぎ役－能力・機能・窓口一元化

子育て支援施設連携：次世代産業人財育成、二次就業支援

高齢化率が高い地域での人材掘り起こし

産業振興支援機能

糸魚川産業創造プラットフォーム
【各産業企業が連携するためのハブ】

- ・ 価値創造
- ・ 課題解決

中心市街地活性化支援機能

中心市街地活性化中間支援組織
【様々な市街地活性化活動のハブ】

- ・ 商店街事務局
- ・ 市民・企業街なか活動支援

課題

- ・糸魚川市を支えている中小企業が人材不足や高齢化等により縮小、廃業が危惧される
- ・中小企業や創業の課題は多種多様であり、産官学金一体の総合的な支援が求められている

方針

- ・ITによる生産性向上、人材育成、企業OB活躍の場等人材不足対策
- ・創業、中小企業課題解決に対応するワンストップ窓口

産業活性化センター

雇用

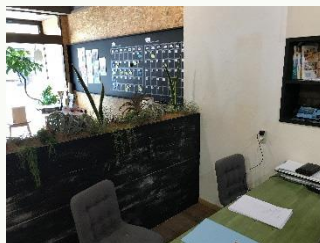
- 個社磨き
- 新規雇用の開拓
- 女性・企業OB活躍の場



人材育成プログラム（子育て・介護離職者育成、生産性向上）
ものづくり体験ファクトリー
住み方・過ごし方・働き方発信

マーケット

- 企業・製品情報発信
- 市場開拓
- 創業者支援



コト・モノ・ワザデータ
ベース
創業支援窓口
コワーキングスペース

ブランディング

- 製品・技術開発
- 産官学金連携
- 企業の魅力創出



産官学金による総合支援
企業ブランディング支援窓口

まちでビジネスが広がる

基本項目

- ①ターゲットはどんな人ですか？（ターゲット）
- ②その人が持つ、困りごとや悩みは？（現状と課題）
- ③どんなサービスを提供しますか？（サービス）
- ④提供されるサービスによって、その人のこまりごとや悩みはどうなりますか？（効果）
- ⑤サービスが提供される場所はどこですか？（場所）
- ⑥その取り組みを進めるために、どんな人が必要ですか？（人材）

にぎわい創出のための提案マップ (案)

